保健・医療の情報コーナー

すこやかライフ

成人保健課（〒564・0072出口町19・2保健センター内TEL6339・1212FAX6339・7075）
保健医療総務室（〒564・0072出口町19・3保健所内TEL6339・2225FAX6339・2058）
地域保健課（〒564・0072出口町19・3保健所内TEL6339・2227FAX6339・2058）
国民健康保険課（TEL050・1807・2183FAX6368・7347）
口腔ケアセンター（〒565・0862津雲台1・2・1TEL6155・8020FAX6873・3030）

保健所のホームページ　成人保健課のホームページ

各種健（検）診

加入している公的医療保険の種類に関係なく受診可。65歳以上は無料。64歳以下で吹田市国民健康保険の加入者は国民健康保険課へ、市民税非課税・生活保護世帯は検診の2週間前までに成人保健課へ申請すれば、いずれも無料。問成人保健課。
※受診の1年の区切りは、健診は4月～3月、検診は1月～12月です。

健診	30歳代健康診査	血圧測定、尿検査、血液検査など。30～39歳。	無料
	歯科健康診査	口腔内検査、歯面清掃など。15～74歳（ただし、15～18歳は学校などで歯科健診を受ける機会がない人に限る。💻で事前申請が必要）。	
個別検診※1	胃がん検診 ※2	胃内視鏡検査 ※3。50歳以上で今年偶数年齢になる人。	2000円
	大腸がん検診	便潜血反応検査。40歳以上。	300円
	肺がん検診 ※4	X線検査。40歳以上。問診の結果、必要な人のみ喀痰検査。50歳以上。別途500円。	400円
	子宮がん検診	頸部細胞診。20歳以上の女性で、今年偶数年齢になる人。問診の結果、必要な人のみ体部細胞診。別途500円。	500円
	乳がん検診	マンモグラフィと視触診。40歳以上の女性で、今年偶数年齢になる人。	1000円
	前立腺がん検診	血液検査。50歳以上の男性。	700円
	結核検診 ※4	X線検査。65歳以上。	無料
	B・C型肝炎検診	血液検査。20歳以上で、B・C型肝炎ウイルス検査を受けたことがない人。	
	骨粗しょう症検診	骨量測定。20～70歳で年齢の下1桁目の数字が今年0か5になる人。	1000円
	聴力検診	6周波の聴力検査。今年50・55・60・65・70歳になる人。	500円

誕生月かその翌月の受診を推奨。所申直接、協力医療機関へ。
協力医療機関は、市報10月号と同時配布した「吹田市けんしんガイドブック」と成人保健課のホームページに掲載しています。

集団検診※1	胃がん検診 ※2	X線検査。50歳以上。1000円。昨年胃内視鏡検査を受けていない人。	時4月17日㈬ 午前9時～11時40分。	誕生月に関わらず受診可。所保健センター。申4月3日㈬までに💻か、検診名、住所、名前、生年月日、電話番号を郵送かファックスで成人保健課へ。多数の場合は日程を振り替えることがあります。
	大腸がん検診	便潜血反応検査。40歳以上。300円。		
	肺がん検診 ※4	X線検査。40歳以上。400円。喀痰検査は実施していません。※5	4月の実施はありません	

※1　問診の状況により、市の検診として受診できない場合があります。
※2　個別検診か集団検診のどちらかを選んで受診してください。
※3　のど、鼻腔への局所麻酔以外の痛み止めや、鎮静薬は使用できません。また、抗血栓薬を服用している人は受診できません。
※4　65歳以上の人はいずれかを選んで受診してください。また、血痰のある人は検診の対象外です。速やかに医療機関を受診してください。
※5　50歳以上で、喫煙指数（1日の平均喫煙本数×喫煙継続年数）が600以上の人は、喀痰検査の対象となります。市内の協力医療機関で実施する肺がん検診を受診してください。

💻はこちら

▶市役所本庁舎の改修工事に伴い、駐車場の一部を閉鎖しています
混雑が予想されるため来庁の際は、できるだけ公共交通機関を利用してください

その他の検査・健診

HIV・性感染症検査　HIV、クラミジア、梅毒の検査ができます。匿名。診断書は発行しません。時月2回金曜日午前9時30分～11時45分。1人15分。結果説明は原則1週間後。所保健所。定各先着9人。申電話で地域保健課へ。

国保健康診査（特定健診）　身体測定、尿検査、血液検査など。対象者には、誕生月の前月末に受診票を送ります。令和5年4月2日以降の加入者は国民健康保険課へ問い合わせてください。特定健診の代わりに人間ドックを受診した人には受診費用の一部助成制度があります。詳しくは市ホームページへ。対40～74歳の吹田市国民健康保険加入者。国保以外の保険の加入者は、加入している健康保険の保険者へ問い合わせてください。問国民健康保険課。

人間ドック助成についてのページ

在宅要介護者・児訪問歯科健診　年1回、自宅で歯科健康診査を行います。対要介護者・児で通院ができない人。申電話かファックスで吹田市歯科医師会（TEL6389・6881FAX6389・3387）へ。問成人保健課。

相談

面談は予約制。時月～金曜日。祝・休日、年末年始は除く。

健康相談　健康、食事、禁煙、生活習慣病の予防など。所保健センター、同センター南千里分館。問成人保健課。

こころの健康相談　統合失調症や気分障がい、アルコールや薬物、ギャンブルなどの依存症、認知症、ひきこもりなど。所保健所。問地域保健課。

医療相談　医療機関に関する相談や苦情などに応じます。所保健所。問保健医療総務室。

くらしの情報

口腔ケアセンターの催し

障がい者（児）のお口のケアとリハビリテーション　歯科医師による口腔の健康度チェックと口腔ケア指導。時(1)4月25日㈭、(2)5月26日㈰、(3)6月27日㈭。(1)(3)午後1時30分～3時30分、(2)午前10時～正午。対会場へ来所できる障がい者（児）。難病や脳梗塞後遺症がある人も可。定各先着10人。申(1)3月1日㈮、(2)4月1日㈪、(3)5月1日㈬から基本事項と年齢を電話かファックスで同センターへ。

ドクターメモ　パニック障害

パニック障害という病気はどんな病気でしょうか。

健康な人が特に思い当たる理由もなく、ある日突然心臓がドキドキする、血の気が引く、息が苦しくて立っていられなくなる、などの症状が出現し、死んでしまうのではないかという恐怖でパニックに陥る症状をパニック発作といいます。このパニック発作が「また起こるのではないか？」と無意識に考えてしまうことで、再び動悸や呼吸困難といった症状が起こってしまいます。症状は電車や人混みの中でしばしば出現するため、次第に外出が困難となっていきます。このようにパニック発作が繰り返し起こることで、日常生活に支障が出た状態をパニック障害といいます。

パニック発作は通常数分～20分程度で治まるのですが、強烈な不安や苦痛を生じるため、救急車を呼んで病院を受診する人がしばしば見受けられます。しかし病院到着時には症状はほぼ消失しており、心電図や胸部X線検査などを受けても異常を指摘されません。医師からは「特に異常はありませんよ」と言われるものの、動悸などが繰り返されるため何度も内科を受診する人もいます。

現在パニック障害は、不安や恐怖感をコントロールする海馬、扁桃体、帯状回などの脳の一部の機能障害と考えられています。治療としては抗不安薬や抗うつ薬などの薬物療法や認知行動療法などの心理療法があります。繰り返すパニック発作で困っている人は、精神科や心療内科を受診してみると症状が緩和されるかもしれません。

吹田市医師会　富樫　哲也